

沢田ともふみ

静岡県議会議員



公式ホームページ

育つたままに生きる



生きづらさを感じている方に寄り添う社会づくり、災害に強い安心なまちづくり

日頃より、沢田智文の県政活動に対し、ご理解ご支援をいただき感謝申し上げます。
 4月の県議会選挙で二期目の当選をさせていただき、新たな気持ちで活動を行っております。今年は、産業委員会副委員長、子どもの孤立対策特別委員会委員を拝命しました。また、会派では政調会副会長となりました。私が所属するふじのくに県民クラブは、県民のための政策に力を入れております。政調会副会長として、県民の皆様の安全・安心のためにどのような政策が必要なのかを会派内でしっかりと議論し、今後の議会や委員会に反映させていきます。
 今年度は、一般質問を6月と2月に行うこととなりました。今回の一般質問の内容については紙面にて報告させていただきます。「県民の皆様が望む選択肢を増やす」という点に力を入れて活動を行っていきます。生きづらさを感じている方に寄り添う社会づくり、災害に強い安心なまちづくりに向け引き続き頑張っております。

常任委員会では、産業委員会に所属し、役職は副委員長

商工業や農林水産業の振興、就業の支援、雇用の課題を協議します。7月には県内の施設を視察してきました。焼津市の808FACTORY、磐田市の県立農林環境専門職大学、浜松市のJAみっかび柑橘選果場などを訪問し、学ぶことができました。

本年度は、「子どもの孤立対策特別委員会」に所属

「子どもの貧困」という言葉を聞くことが、依然として多くあります。コロナ禍や物価高騰などにより経済的に困窮する家庭が増加しています。また、ヤングケアラーや虐待、いじめなど子どもを取り巻く環境は厳しい状況になっています。子どもたちが孤立する要因を調査し誰もが豊かに生きていける社会を目指し政策提言できるように取り組んでいきます。

主な活動報告

4月

- 中遠地協メーデー
- 労福協ドリームじゃがぼ芽かき
- 地元企業訪問
- 観音山少年自然の家 視察・意見交換
- 遠州大名行列

5月

- 東アジア文化都市 2023 静岡春の式典
- 東京総合教育展
- 磐田軽トラ市
- いわた土木 ラブフェスタ
- 「旧津倉家主屋」有形文化財登録記念イベント

6月

- 環境美化活動二番町 草刈り
- 浅羽海岸清掃活動
- 敷地川決壊箇所視察
- 磐周地区小学校運動会・中学校体育大会訪問

7月

- 会派九州視察
- 西部児童相談所 意見交換
- 水災害対策磐田市議と意見交換
- 産業委員会県内視察

8月

- こども県議会
- 静岡県地震防災センター一見学(地域の行事に参加)
- 磐田市内納涼祭

議員活動ダイジェスト



遠州大名行列に中小姓として参加



明治製菓の工場見学
見付二番町の町内研修旅行にて



中遠地協は、地域地球貢献の一環として浅羽海岸松林再生事業に参加しています。働く仲間と下草刈りをしてきました。



高千穂峡視察



鹿児島市立天文館図書館視察



FMハロー「KENGI DE NIGHT」



今之浦の納涼祭



静岡県観音山少年自然の家視察

FM Haro! 76.1 MHz

FMハロー KENGI DE NIGHT
【毎月第2月曜日 19:30~20:00】

番組名が変わりました。

ふじのくに県民クラブの仲間とFMハローのラジオ番組に出演しています。地域の最新の話題に加えて働く仲間に関する課題や教育問題を中心に現場の声を届けながら必要な施策を訴えています。

6月県議会、一般質問に登壇!

6月30日

6月定例会(6月23日開会、7月12日閉会)での一般質問と答弁の要旨を報告いたします。
全文、および動画は、静岡公式ホームページに掲載されています。



Q1.労働力の確保について

2040年問題を抱えた今、労働力が低下すると、生活維持をするためのサービスの低下につながる。労働力の確保を今後どのようにすすめていくのか。

ANSWER.1 【答弁】川勝平太知事

「ふじのくににパスポート」や「30歳になったら静岡県!」の取組は、今年で6年目を迎える。興味・関心を促す情報提供を継続的に行い、これまでに3万人を超えるSNSフォロワーを獲得している。今年度は、新たに、大学生の取材による企業情報誌を発行し、県内企業の魅力発信に取り組むなど、情報の充実を図っている。また、発信先の対象を拡大し、「ふじのくににパスポート」の取組を県内で学ぶ大学生や専門学校生にも広めることとした。県内企業の魅力を発信し、地元での活躍を希望する若者の増加につなげ、本県経済の成長に必要な労働力の確保を図っていく。



Q3.子どもの居場所づくりについて

様々な理由により困難を抱えている子どもにとって、安心して過ごすことのできる多様な居場所を増やしていく必要がある。子どもの居場所づくりの推進について県の取組は。

ANSWER.3 【答弁】森貴志副知事

子どもの居場所の開設に向けて、食材や資金の確保方法を学ぶ担い手育成のためのセミナーを中心に開催してきた。今後は、様々な運営ノウハウを提供し、新たな居場所の立ち上げを支援していく。また、継続的に運営していくため、県ではふるさと納税や企業等からの寄附金を原資とした運営費助成を実施している。今後は、特色ある個別の活動に対して助成するクラウドファンディング型のプロジェクト事業の採択件数を増やすなど、居場所づくりを資金面から支援していく。さらに、多様な居場所の中から、子どもに合った居心地の良い場所を探すことができるよう、今年度新たに子どもの居場所の電子版マップを作成し、ホームページ等に掲載することで、広く周知を図っていく。



Q5.高校生の自転車事故防止対策について

高校生自転車マナーアップモデル校について、県警がどのようにサポートし、高校生がどのような主体的な活動を行っているのか、事故防止対策を進めていくのか。

ANSWER.5 【答弁】大原光博警察本部長

「自転車事故防止動画の自主制作」「学校周辺における街頭指導や広報啓発活動」「通学自転車への反射材の取付活動」「自転車安全利用宣言の実施」などが行われている。警察では、題材の提供や動画内容の監修、街頭指導や広報啓発の具体的な要領に関する指導などのサポートをしている。また、効果的な取組に関しては、本年6月開設の「静岡県警察本部交通安全情報Twitter」で公開し、フィードバックすることで、更なる取組の促進を図っている。従来から実施している参加・体験・実践型の交通安全教育や通学路における交通指導取締り、ヘルメット着用促進に向けた広報啓発活動を一層推進するとともに、マナーアップモデル校において、生徒主体の交通安全活動が積極的に行われていくよう、強力なサポートに努めていく。



Q2.磐田市内の治水対策について

昨年の台風15号による浸水被害、また今年の台風2号による浸水被害を踏まえ、今後の磐田市内の治水対策をどのように進めていくのか。

ANSWER.2 【答弁】勝又泰宏交通基盤部長

敷地川や一雲済川などにおいて、堆積土砂の撤去を進め、河川改修を加速するとともに、今ノ浦川の支川である半ノ池川などにおいて、川幅が狭い箇所への拡幅を実施している。さらに、磐田市と連携し、雨水貯留施設や排水ポンプの設置と適切な運用などのハード、ソフトの両輪で対策に取り組んでいく。台風15号に加え台風2号で被災した箇所の迅速な復旧はもとより、磐田市と連携した「流域治水」を推進し、激甚化、頻発化する豪雨から住民の皆様の生命や財産を守る対策を確実に講じることで、水災害に強い地域づくりに努めていく。



Q4.観音山少年自然の家の教育的価値について

今年開所50年を迎えた観音山少年自然の家は、施設の老朽化等の問題から、そのあり方が検討されているようである。観音山は無二のもので存続させる教育的価値の高い施設である。県教育委員会の見解は。

ANSWER.4 【答弁】池上重弘教育長

集団で行う自然体験活動には、やる気や生きがい、道徳観・正義感を高め、積極性や協調性、判断力を育む効果の高いことが国の調査でも示されている。誰もが安価に自然体験を享受できる観音山少年自然の家等の青少年教育施設の教育的価値は、非常に高い。広大な活動エリアを活かし、小学生向けのプログラムが充実し、小中学校での勤務経験のある職員が、利用児童や引率教員へきめ細かな指導・助言を行っているため、特に磐周地区の小学校の人気・満足度が非常に高い施設である。一方で、50年以上経過し、施設の老朽化が進んでいる。利用人数は減少が見込まれており、現在、県立青少年教育施設4所のあり方を検討している。利用者や地域の意向を十分に伺いながら、自然体験の素晴らしさを伝える活動の場をいかに提供していくべきかを考えていく。本県が目指す「有徳の人」づくりに必要不可欠なものであるとの認識の下、子どもたちの体験活動の機会の提供に努めていく。



Q6.水道管の管理におけるデジタル技術の活用について

管路の維持管理や更新、緊急時などといった様々な課題に対応するためにデジタル技術を活用することは大変有効であると考えられる。企業局の取組と今後の方針は。

ANSWER.6 【答弁】木野雅弘企業局長

平成26年度からは、県庁内の様々な地理情報を扱うシステムである静岡県GISにも搭載し、道路工事の施行者に情報提供している。一方、企業局では、老朽化した管路の更新を長期修繕改良計画に基づき、約半分が完了している。昨年度、企業局職員の提案により、更新工事の際に露出する管路をスマートフォンの3Dスキャナーで撮影したところ、管路の3次元点群データを低コストで容易に取得できることが確認できた。今年度は、9件の管路更新工事において、3次元点群データを取得する。今後は、管路台帳や静岡県GISへ反映させていく。デジタル技術の活用など最新技術を積極的に導入していくこととし、AIによる水質管理やドローンによる施設点検などにも取り組んでいる。今後も、業務の質を更に向上させ、将来にわたり安全・安心な水の安定供給に努めていく。

県政に対するご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にご連絡ください。



静岡県議会議員

沢田ともふみ
事務所



〒438-0086
磐田市見付(二番町)2469
電話:0538-39-2500
FAX:0538-24-8128
メール:qqr9nu9k@wind.ocn.ne.jp



ホームページはこちら